

科目名	年度	レポート番号	クラス	学籍番号	名前
API 実習	2021	3	A	20120068	山路友樹

レポートは極力 5 ページ以内とします。ページ数や文字数よりも、わかりやすく書けているかどうか、点数アップの分かれ目です。

API 連携について、実用的な API とその活用について調査すること。

評価ポイント

選択した API の連携にどのような事例があり

具体的な実装方法について調べ

自分が使うのであれば、どんな使い方が考えられるか << 天気予報に使えると思うなどは NG。具体的に考えよう。

Twitter API

機能：タイムラインや、投稿されたデータを活用することができる API。例えば、データ収集のツールとして活用することができる。あるキーワードに関するツイートだけを収集するようにすればそのワード(物、サービス)についての興味を調べることが可能になる。

マーケティングの市場調査においては有効な手段として分析サービスを提供している事例が既にいくつか提供されている。

例えば、

Brand watch

Twitter 分析, Instagram 分析に対応

用意されている機能

豊富なデータソースと従量課金の無いデータ検索

- ・Twitter 全量データへアクセス※1
- ・Instagram ハッシュタグ無制限※2
- ・分析のためのデータ検索（抽出）容量は無制限※3
- ・クエリ数は無制限で保存可能※4

興味関心軸でのユーザーデータ作成も可能

- ・様々なダッシュボード
- ・詳細な設定により、カスタマイズしたチャートや
- ・ダッシュボードを作成可能
- ・アラート、レポート配信により
- ・重要なインサイトの共有が実行可能

分析フレームワーク

・多種多様なデータソースと豊富なダッシュボードの組み合わせからなるフレームワークを使うことで、消費者ニーズやトレンド把握をより効率的かつ、高度化が可能

上のサービスの他にも他企業が分析用サービスを展開している。

私自身、よくツイッターを利用しているが趣味の情報収集やコミュニケーションツールとしての活用しかしてこなかったため商業で使われていることにとても興味をもった。

TwitterAPI を活用できると考えた場面。

・商業向けの API を既にたくさん公開されているため同じようなサービスを作成しても効果が薄いと感じたためオリジナル性を出す必要がある。

そのため、ただ分析し出力をするサービスで終わるのではなくそこで得られたデータをさらに活用して提供することが良いと考えた。上にも書いていたように私は元々ツイッターは趣味(ゲーム)の情報集めのために使っていることが多い。その時に、同じ部分で悩んでいる他のユーザーのツイートをよく見ることがある。そういったニーズを集めてブログに記事を書いたりしているのだが、ネタを探すところは手動なので正直言って効率が悪いと感じていた。

分析機能を使うことによって改善することが可能なのではないかな？

Twitterapi の機能にツイートの分析機能がある。この機能を活用することで効率的に収集できると考えた。例えば、「#○○(ゲーム名)」のワードが入った検索だけを取るようにすればその分野の情報のみを収集してくれたり、そこから「○○のマップ」「○○(アイテム名など)」など条件をつけて絞っていけばユーザが関心を持っている情報を数値化することが可能になる。その情報をもとに記事を書けばブログ自体にアクセスが増えて利益が出る可能性が高まるのではないかな。
(導入する際の労力とそれに見合った収益があるのかなど問題はありますが・・・)